



本村幼稚園 7月の園だより

令和元年6月28日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

子供の成長を感じた1学期

園長 山村 登洋

■よく頑張ったね、なつまつり

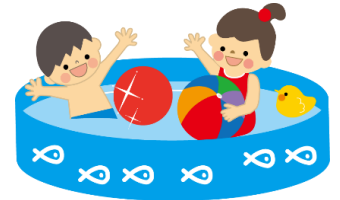


早いもので、令和元年度の1学期も残すところ、約1ヶ月となりました。

6月18日の「ほんむら なつまつり」には、大変多くの保護者の皆様、地域の皆様、近隣保育園の子供たちにご参加いただきました。昨年同様、150名以上の皆様に参加していただきました。

子供たちは夏祭りの成功のために長い時間をかけて遊戯やお店づくり、そのお店当番の練習、また、ダンスや踊りの練習もしてきました。その子供ながらの一生懸命さが、当日の夏祭りに大いに発揮されたと思います。地域の皆様には、子供たちが大喜びするバルーンアート、ヨーヨー釣りの2つのブースを開催していただきまして、ありがとうございました。また、PTAの皆様には、お店やお神輿の製作、当日の事前準備、後片付け等、本当にありがとうございました。こうして、保護者、地域の皆様に支えていただきながら無事に夏祭りを終えられたことに心から感謝申し上げます。このような一つ一つの成功体験が運動会同様、子供たち一人一人を大きく成長させます。

この達成感が子供の自己肯定感に繋がっていきます。とにかく嬉しいですね。



■「遊びは学び」ということ その2

玄関前には仮設プールが出来上がり、今週からプール遊びも始まりました。このプール遊びは、安全第一で進めてまいります。お子様の体調等はご家庭でもぜひ、ご確認をお願いいたします。

6月号の続きとなりますが、私たちは子供たちが「遊び」を続けていく中で、「自立して生きていく力」を育てていくことができていると感じています。幼児期の遊び体験から学んだことは、子供たちにとっても大きな成長を呼び起こします。例えば、自分で考える姿勢や他の人とのかかわりやそのかかわりの中に自分があるという実感は、子供たちが小・中学校教育の中で学び重ねていく基盤となるものです。

そういう姿勢や実感は、体験しないと身に付いていきません。子供が自らの身体で感じて、習得していったものが、その後の成長過程において大きな影響を与えていきます。机に向かって受け身的な時間を過ごすより、幼児期はたっぷり遊んで、そこから学ぶということとがいかに重要かお分かりいただけるとと思います。

■いよいよ夏休み

この1学期、初めは私も、保護者の皆様、子供たちもドキドキしながらのスタートでしたが、毎日一緒に過ごしていく中で関係が出来始め、皆様に支えられて、楽しく過ごすことができました。7月末より長い夏休みに入りますが、普段できない体験を多く経験させてあげてください。よい夏休みをお過ごしください。1学期たくさんのお支えをありがとうございました。

